

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 平成 30 年度 委員会・研究会の活動について

※各委員会、研究会への参加をご希望の方は、CSAJ Web ページから、お申込みください。

⇒ <http://www.csaj.jp/committee/>

▶ 総務委員会

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役会長）

国の施策などを見据え、必要に応じて政策提言等の意見を各委員会・研究会等から求め提案します。

また、会員拡大に向けた施策などを含む協会全体の運営に関わる基本問題等を討議するほか、必要に応じて準備会、ワーキンググループ等を設置し、具体的な検討を行います。

○理事候補選定準備会

▶ 政策委員会 委員募集中

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役会長）

副委員長：水谷 学（ピー・シー・エー㈱ 取締役相談役）

コンピュータソフトウェア産業の健全な発展のための施策として、各委員会や傘下のワーキンググループ（WG）から発信される政策提言活動を後押しするとともに、政府・関係省庁等との意見交換や政策提言を申し入れる場として、勉強会や検討会を開催します。また、既存の WG の活動を通じて、Fintech への対応、中小企業への IT 導入支援、税制改正対応、さらに、新たな課題として、バックオフィスの生産性の問題や自動走行に関して今後必要な諸制度の検討などに積極的に取り組んでいきます。

○税制改正対応ワーキンググループ

○FinTech ワーキンググループ

○軽減税率対応ワーキンググループ

○バックオフィス生産性ワーキンググループ

○中小企業 IT 支援活用ワーキンググループ（(一社)コンピュータシステム販売店協会との合同 WG）

● 経営力向上研究会 メンバー募集

主査：松倉 泉（㈱Harness LLP 代表取締役）

- ・経営力の向上を目指して、各種支援（経営、事業の改革・改善など）活動を行います。
- ・経営力向上を目的としたセミナー（交流・親睦含む）や勉強会を企画・開催します。
- ・経営に役立つ情報交換のために、大学や企業訪問を行います。

● 働き方改革研究会 メンバー募集

主査：村瀬 正典（㈱バース情報科学研究所 代表取締役社長）

働き方改革の実現は、各企業において規制の受け入れではなく、生産性向上による成長戦略となるものでなければならないため、関連法案への理解と対応、ICT を活用した生産性の向上、会員各社の製品の販促を目的に活動します。

▶ 法務・知財委員会 委員募集中

委員長：水谷 学（ピー・シー・エー㈱ 取締役相談役）

副委員長：平野 高志（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

副委員長：杉原 佳堯（グーグル(同) 執行役員 公共政策担当）

コンピュータソフトウェア産業の健全な発展のため、以下 3 つの役割を担い、活動を行います。

- (1) 法改正に対する業界団体としての意見発信
- (2) 会員企業への法務関連情報提供（法改正・重要判例等）
- (3) 会員企業の法務力アップ（契約・訴訟等法務の基礎知識やトラブル予防・事後処理ノウハウの習得）のための講座企画

なお、平成 30 年度は、データ利活用促進関連、働き方改革推進整備法関連、会社法改正などのテーマは注視します。

▶ **人材委員会** メンバー募集

委員長：山本 祥之（㈱インテリジェントウェイブ 特別顧問）

副委員長：木田 徳彦（㈱インフォテック・サーブ 代表取締役）

国の施策を鑑み、第 4 次産業革命を担う次世代高度 IT 人材の育成と、人材の需給バランス適切化を主なテーマに、会員企業が求める人物像の明確化と、その採用/育成方法について調査・意見交換を行います。また、経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構および関係団体と IT 人材に関する意見交換やヒアリング等を実施し、取り組みについてセミナー等により情報発信します。

● **人材育成研究会** メンバー募集

主査：富田 伸一郎（㈱ウチダ人材開発センタ 常務取締役）

第 4 次産業革命を実現する担い手として、IT 業界が求める人材の育成に注力していきます。多様化している技術動向を視野に入れ、必要な人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行い、その成果を求めるワークショップの推進や産官学連携も視野に入れた活動を継続します。主に注目すべき技術（IoT, AI, ロボット、セキュリティ）を中心に人材育成手法や研修体系を整備、またグローバル人材、中高年 IT 人材の活用など働き方改革に合わせたキャリア教育も計画していきます。また、iCD 研究会とも連携し、会員に対してタスク、スキルを意識した人材育成計画を支援していきます。

● **iCD(i コンピテンシ ディクショナリ) 研究会** メンバー募集

主査：木田 徳彦（㈱インフォテック・サーブ 代表取締役）

第 7 期となる iCD 活用ワークショップを開催し、企業の経営戦略などの条件に応じた人材育成を支援します。また、過去ワークショップ参加企業による iCD コミュニティを開催し、iCD 導入時の課題等について検討を行い、その結果については、一般社団法人 iCD 協会等へフィードバックを行うなど、iCD の導入・普及・活用のための活動を行います。

● **健康経営推進研究会** メンバー募集

主査：金成 葉子（㈱シーシーダブル 代表取締役社長）

健康経営のための「心と身体健康づくり」に活動の幅を広げ、協会会員の取組み支援施策を企画・実施するとともに、協会、健保、国への積極的な提案・提言を図ります。（何れもダイバーシティ、メンタルヘルス関連を含む。）

● **地方創生 IoT 支援研究会** メンバー募集

主査：近森 満（㈱サートプロ 代表取締役 CEO）

地域における IoT 人材育成推進と IoT 教育不足の解消を目的に、IoT の本質や機能、IoT 実装について「総合的に理解する人材」を育成し、経済産業省「地方版 IoT 推進ラボ」事業との連携による地方創生に役立つ IoT 支援の具体的な事例の共有および地方自治体への IoT 促進を図るための活動を行います。

● **インターンシップ採用研究会** メンバー募集

主査：牧口 和弘（㈱ココスペース 代表取締役）

企業としてインターンシップの受入れに必要な情報を共有し、学生と企業双方にとって価値のある制度とするために、企業側・学生側の成功事例/失敗事例を交えて意見交換を行います。また、経済産業省・文部科学省にもご参加いただき、情報共有や提言を行なえる場を設けます。

▶ **プログラミング教育委員会** メンバー募集

委員長：田中 邦裕（さくらインターネット㈱ 代表取締役社長）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

2020 年に始まる初等教育におけるプログラミング教育の必修化に向けて、業界団体として行えるサポート体制について検討、実施します。具体的には、会員企業が行っているプログラミング教育の取組み紹介や、企業・他団体と連携のうえ、行政機関や教育現場と企業・団体をつなぐプラットフォームの構築、さらに先導自治体や先導校、先生などを表彰する仕組みの検討などを実施予定です。

▶ **国際委員会** 委員募集中

委員長：青野 慶久（サイボウズ㈱ 代表取締役社長）

副委員長：豊田 崇克（ネクストウェア㈱ 代表取締役社長）

海外展開をする会員企業のフォローを目的に関係政府機関との情報交換を図ると共に、海外団体（政府機関、ソフトウェア協会）との情報交換、欧州や中国等における様々な規制の影響整理、アウトバウンドの情報発信を行います。また、アジアビジネス研究会からの活動報告を受け、協会としての指針を決定します。

● **アジアビジネス研究会** メンバー募集

主査：吉田 一也（㈱アスペックス 代表取締役社長）

中国（深セン等）および米国（シリコンバレー）への海外視察について検討・実施を行います。また、その報告会と、アジアビジネスに関係する講師を招へいたセミナーを年間3回程度行います。日本国内で、アジア各国の大使館を訪問し、各国のIT市場の動向をヒアリングし、調査します。共同でのイベント開催を企画します。

▶ **技術委員会** 委員募集中

委員長：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

副委員長：山本 祥之（㈱インテリジェントウェイブ 特別顧問）

IT業界での最新技術動向やアプリケーション開発技術（インフラ技術含む）に関する情報配信企画などIT技術者の好奇心を触発し、成長を促すための施策を検討／実施します。また、企業の枠にとらわれないIT技術者間交流やコミュニティ形成を促進させる施策の検討・意見交換を行い、その一環として若手技術者を対象とした海外研修を継続運営し、最新テクノロジーの実装実例の視察や新テーマの研究会/WGの設置を促します。

● **モバイルソリューション研究会** メンバー募集

主査：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

モバイルソリューションに関する、開発技術や動向を会員企業とそのエンジニアへ向けて 様々な形で提供しビジネスの一助として頂きます。

- ・モバイルデバイスやウェアラブルデバイス、AI音声アシスタントを含むIoTデバイスなどで動作するアプリケーションの開発技術の調査・研究・情報発信
- ・モバイル、ウェアラブル、IoTをシステムから活用するためのバックエンドサービスやハブ機能などのスタンダード動向の調査・研究・情報発信

● **人工知能（AI）技術研究会** メンバー募集

主査：竹原 司（㈱デザインクリエイション 最高顧問）

人工知能が、一般も含めて大きなブームとなり、加熱気味に推移する中で、その実態を見極め正しい適応可能性と社会的影響を把握し、協会員にとって、どのようなビジネスチャンスとなり得るかを正確に理解し、確実なビジネス化に結び付けて行くことを支援する活動を目的とします。

● **IoT 推進研究会** メンバー募集

主査：安井 昌男（㈱豆蔵 執行役員）

全てのデバイスが繋がるIoT(Internet of Things)を実現するアプリケーション技術について、先進的なモデル事業の調査・研究を主にした活動で、メンバー及び会員企業間での知見の共有を図ります。また、政府主導のIoT推進コンソーシアム及びIoT推進ラボへの関与を通じて実現可能なプロジェクトの創出や関連諸団体との協力関係を構築しIoTアプリケーションを実現するプレイヤー間の情報共有を目的とします。

● **農業 ICT 研究会** メンバー募集

主査：中村 憲司（㈱大和コンピューター 代表取締役社長）

国内農業の抱える課題を、ICTを活用し解決する為の、現状調査を行ないます。今後、IoT(Internet of Things)の進展、AI(人工知能)、ロボット技術、仮想空間、等の発展・展開が予想される中、協会員のビジネスチャンスの可能性を研究します。農業ICTの地方創生、働き方改革への可能性を調査、研究します。また、これらに関わる、政府・関係省庁、地方自治体、等の政策・施策・条例の調査等を行います。

- ・実地調査の為の視察。
- ・専門家、実施企業・農家等との意見・情報交換、講演・セミナーの実施。

▶ **セキュリティ委員会** 委員募集中

委員長：板東 直樹（アップデートテクノロジー(株)）

副委員長：加藤 智巳（(株)ラック 執行役員 サイバー・グリッド・ジャパン GM）

副委員長：小屋 晋吾（(株)豆蔵ホールディングス 執行役員 渉外担当）

副委員長：萩原 健太（トレンドマイクロ(株) 統合政策担当課長兼 TMSIRT チーム統括責任者）

来る2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、予測されるサイバーセキュリティ人材不足の解消の一助として本委員会が要望書（一昨年11月）を通じて国に提言し、昨年7月に創設された「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」の普及（セミナーなど）や引き続きIPAセキュリティセンターや経済産業省サイバーセキュリティ課などとの意見交換を通じて産官学の協力体制構築について検討します。また、ITセキュリティに関する最新テーマの情報配信については、引き続きアドホックなセミナーの開催を企画・実施するとともに、昨年度より本委員会内で検討してきたSoftware ISAC（Information Sharing and Analysis Center）の成果を踏まえ、会員のソフトウェアベンダの開発者に役立つ脆弱性情報の提供・共有のための仕組みづくり（ツール：kintone）を実施し、平成31年度からの本格運用を目指します。

▶ **ビジネス拡大委員会** 委員募集中

委員長：豊田 崇克（ネクストウェア(株) 代表取締役社長）

副委員長：萩原 紀男（(株)豆蔵ホールディングス 代表取締役会長）

会員企業のビジネス拡大に向けた施策の検討、イベントの企画・運営等を行います。なお、平成30年度は、現場の営業・マーケティング担当者に焦点を当てた、会員企業の営業力強化につながる活動を推進します。

● **助成金等活用研究会** メンバー募集

主査：福井 泰代（(株)ナビット 代表取締役）

会員サービスにもつながる補助金・助成金の活用について、興味のある会員企業に対して情報提供を行い、会員企業の成長に寄与できるような取り組みを検討します。

● **B to B マーケティング研究会** メンバー募集

主査：植山 浩介（SATORI(株) 代表取締役）

- ・コンピュータソフトウェア業界、特に BtoB 業界におけるマーケティング活動を啓発し、当該企業を成功に導くためのセミナー&ワークショップを実施、業界全体の活性化に貢献することを目的とします。
- ・CS 業界におけるマーケティングの多種多様な事例を研究会で分析・検討し、主に BtoB マーケティングに携わる担当者の知見や仕事力強化に繋がります。

▶ **交流委員会** AB 交流会メンバーの募集

委員長：東尾 公彦（コナミホールディングス(株) 取締役）

副委員長（AB 交流会リーダー）：小川 敦（(株)アール・アイ 代表取締役）

副委員長（AB 交流会サブリーダー）：田中 聡（(株)ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長）

副委員長（イベントリーダー）：村瀬 正典（(株)バース情報科学研究所 代表取締役社長）

会員同士の交流として、会長杯親睦会、エグゼクティブセミナー、会員交流会などの企画、運営の他、主催しているアライアンスビジネス交流会でのプレゼンテーション強化策（プレゼンテーション企業数やデモの展示方法の見直し）、聴講者数増加のための検討や特別講演の企画、運営などを行います。

▶ **地域 IoT 推進委員会** 委員募集中

委員長：豊田 崇克（ネクストウェア(株) 代表取締役社長）

副委員長：中村 憲司（(株)大和コンピューター 代表取締役社長）

副委員長：富田 祐子（センターフィールド(株) 代表取締役）

CSAJ の活動を全国に拡大するために地域 IoT 推進委員会を立ち上げました。まずは関西圏の会員同士の交流として、懇親会、セミナー、勉強会などの企画、運営の他、地域団体との連携として「関西ものづくり IoT 推進連絡会議」で活動しているビジネスマッチング商談会への参加や展示会の企画、運営などを行います。

<協会の事業等に関する委員会>

▶ プライバシーマーク審査関連委員会

・ プライバシーマーク審査判定委員会

委員長：水越 尚子（エンデバー法律事務所 弁護士）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、第三者機関的な位置づけとして、CSAJ のプライバシーマーク審査員が実施した審査結果（文書審査及び現地審査）に基づいて、プライバシーマークの付与適格性審査を行います（全委員の氏名、開催日程などは非公開）。また、同委員会では、付与事業者等の個人情報事故報告に対する措置も審議・決定します。

▶ PSQ 認証関連委員会

・ PSQ 認証制度委員会

委員長：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

国産パッケージソフトウェアならびにクラウドアプリケーションの品質が世界で通用することを証明する活動として、ISO/IEC25051（JISX25051）に準拠した『PSQ 認証制度』の維持・継続に向けた制度運用の改善を推進します。海外との相互承認を進めます。

・ ソフトウェア品質向上研究会

主査：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

メンバーそれぞれが自社製品の品質要求を SQuaRE シリーズに対応付けながら、品質に関する課題を持ち寄り、全員の共通課題や各社の個別課題について解決策・改善案を検討します。

活動は年 6 回程度を予定します。また、年間 1 回ないし 2 回を目標に、研究会活動の周知とメンバー募集を目的とし、ソフトウェア品質をテーマとした CSAJ 会員向けのセミナーの開催を予定します。

・ PSQ 技術委員会

委員長：福島 満（㈱OSK 品質保証部部長）

副委員長：小川 敦（㈱アール・アイ 代表取締役）

PSQ 認証制度において、ISO/IEC25051（JISX25051）に準拠した評価基準の策定等、必要に応じた技術的事項の改善策の審議を行います。

・ PSQ 判定委員会

委員長：東 基衛（早稲田大学名誉教授）

外部有識者で構成された本委員会では、認証報告および評価報告に基づき、認証等の授与、拒否または取消しに関する事項等の審議を行います。

・ PSQ 公正性委員会（新設予定）

（委員長：未定）

▶ U-22 プログラミング・コンテスト実施関連委員会

U-22 プログラミング・コンテストは 1980 年より経済産業省主催として、優れた IT 人材の発掘・育成を目的として開催している、作品提出型のプログラミング・コンテストです。2014 年からは民間へ移行し、イノベーションを創出し、世界でも活躍していくような若者を応援したい、という思いに賛同いただいた、民間の IT・ソフトウェア業を中心とした協賛企業が、日本の未来を創る若者を支援、CSAJ に事務局を置き開催を継続しています。

・ U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会

委員長：青野 慶久（サイボウズ㈱ 代表取締役社長）

「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」を主催し、コンテスト実施に関わる骨子、運営、予算執行等の意思決定を行います。なお、実行委員会は開催年のプラチナ・ゴールドスポンサーによって構成されます。

・ U-22 プログラミング・コンテスト審査委員会

委員長：笈 捷彦（早稲田大学 名誉教授）

「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」における審査基準・審査プロセスを決定し、一次審査会、最終審査会において応募作品の審査を実施、経済産業大臣賞・商務情報局長賞をはじめとする各賞を決定します。なお、審査委員会は外部有識者等によって構成されます。

▶ CSAJ スタートアップ支援事業

平成30年で4年目となる本事業では、ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を引き続き行っていきます。なお、実際に起業家等への投資を行う「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合（CSAJが無限責任組合員（GP）、略称：CSAJファンド）」は、本事業の趣旨に賛同される企業等により、平成27年6月にCSAJとは別組織として設置され、CSAJは、無限責任組合員(GP)としてその事務局運営を引き続き請け負います。

1) 運営委員会

委員長：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業を広く募集し、ソフトウェア分野における起業家を発掘するとともに、先輩起業家等による支援を行います。また、CSAJファンドの運営を管理するとともに、投資先の支援も継続して行います。

2) 投資委員会

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役会長）

CSAJスタートアップ支援事業にエントリーのあったスタートアップ企業の中から、事前審査を通過した企業の最終審査を行い、今後成長が見込めると判断した投資候補企業(起業家等)をCSAJファンドに推薦します。

▶ 高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム事業

厚生労働省が公募した、我が国の生産性向上のための高度IT技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画(平成29年度～平成31年度)において、IoT・AIなど第4次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を平成29年度から3年事業として実施します。

1) プログラム検討委員会

委員長：梅澤 隆（国士舘大学 政経学部経済学科 教授）

高度IT技術を活用したビジネス創造プログラムを検討するため、各カリキュラムに関連する有識者を招聘し、勉強会を行うとともに、本検討委員会のもとに設置された企業の技術者・専門家からなるワーキンググループからの実務面における課題等のフィードバックを踏まえ、具体的な研修講座の検討を行い、平成30年、31年は、試行的講座を実施します。

<外部委員会>

▶ 情報システム取引者育成協議会

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに、情報システム取引で生じるリスクやトラブルを防ぎ、公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する者を育成し、信頼性の高い情報システムの構築に寄与するための教育プログラムを実施する「情報システム取引者育成協議会（主催：CSAJ・一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）」の運営に協力します。

○ 契約検討委員会

委員長：板東 直樹（アップデートテクノロジー㈱ 代表取締役社長）

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに作成されたモデル取引・契約書、重要事項説明書、ガイドライン等に係る普及推進のために実施する通信教育講座内容等の検討を行います。

※情報システム取引者育成協議会の URL <http://www.system-tr.jp/>

▶ CEATEC JAPAN 実施協議会

CSAJ と一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）の3団体により「CEATEC JAPAN」を主催しています。

・ CEATEC JAPAN 実行委員会

主催3団体の会員企業で構成し、展示、カンファレンス等を企画検討しています。

平成 30 年度委員会・研究会等参加登録申請

委員会・研究会へのお申し込みはWebサイトから

CSAJ トップページ
<http://www.csaj.jp/>



会員ログイン



会員メールアドレス登録・
研究会等参加登録申請

※お申込は、原則 CSAJ 会員限定です。(但し準会員は、各委員会・研究会で対象としている場合は、承認を得た場合に限り、参加が可能です)

※一部の委員会・研究会は、募集を行っていないものもございますので、ご了承ください。